

科目ナンバー	LAW-2-004-jk			科目名	民法		
教員名	谷口 聡			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	この講義では、「民法」という法律の一つの領域を学習する。民法という法律は、私たちの生活に密接にかかわる法律であり、契約のことや損害賠償のこと、親族のことや相続のことなどを規定している。民法は、公務員試験や各種資格試験の受験科目となっていることが少なくない。だが、この講義は、私たちに最も身近な法律である民法を知ってもらい、興味を持って学習してもらうことにより、受講生が、将来、社会人として、安心・安全な生活を営むことができるように、その素養を身につけてもらうことも大切なことであると考えておこなっていく。						
到達目標	民法という法律は、実に広い領域をカバーしている。したがって、この講義の履修のみをもって民法のすべての領域を十分に学習することには無理がある。そのような理由から、この講義では、履修者が履修後に自分の力で、民法のさらなる学習を進めていくことができるようになるための基礎を身につけることを目標とする。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	講義担当者の用意するレジュメを中心に講義を進めたい。加えて、板書を行い、講義内容の充実を図る。また、本講義の履修者の人数にもよるが、講義が一方通行にならないように、本講義を履修する学生との対話の時間も採りたいと考える。また、主体的に学習する態度と法廷思考力を養うためレポートを課すこととする。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	「法学概論」を履修済みであることが理想的である。しかし、法学初学者であっても、講義にはついてこれるように学習をすすめたい。また、「企業法」などの科目の履修も並行して行えば、より効果的な学習ができるものとする。						
アセスメントポリシー及び評価方法	この講義の評価は期末試験の成績において行う。ただし、期末試験の受験資格として、この講義の受講状況が良好であることが必要である。受講状況が「良好」とであるとする判断基準については初回の講義において詳しく説明する。						
教材	テキストとして、伊藤真『伊藤真の民法入門(第6版)』伊藤真(2017 日本評論社)ISBN 9784535523050を使用する。このほか、講義用に講義担当者がレジュメを用意する。						
参考図書	必要に応じて、講義時間中に紹介する。また、受講生の個別の学習目標(現在の法律知識、将来、公務員試験を受験するとか、資格試験を受験するとか)による適切な参考書を、受講生の相談に応じるかたちで、個別に紹介したい。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	イントロダクションー民法とはどういう法律か。民法の法体系上の位置づけ。						
授業外学修内容	民法とはどういう法律かについて考える。					時間数	1
2週目							
授業学修内容	民法総則①民法の基本原則ー民法の基本的な指導理念について						
授業外学修内容	民法の基本的な指導理念について考える。					時間数	1
3週目							
授業学修内容	民法総則②権利主体の能力ー権利能力、意思能力、行為能力について						
授業外学修内容	特に、制限行為能力者制度について考える。					時間数	1
4週目							
授業学修内容	民法総則③法律行為に関する論点ー「意思表示」理論、公序良俗違反について						
授業外学修内容	民法の中核をなす「意思表示」理論と、それにかかわる「公序良俗」違反の法理について考える。					時間数	1

5週目			
授業学修内容	民法総則④代理制度―取引社会における活動の拡張と活動参加援助のための代理制度について		
授業外学修内容	代理制度の基本的理論について考える。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	物権法・担保物権法―物権の性質と登記制度、担保物権とは何かについて		
授業外学修内容	物権法理論全般について重要なポイントおさえる。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	債権法総論①債務不履行―債権の性質と債務不履行の内容について		
授業外学修内容	特に、債務不履行の場合の債権者の損害賠償請求権について考える。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	債権法総論②多数当事者の債権関係―債権者や債務者が複数いる場合の法理論について		
授業外学修内容	特に、保証制度と連帯債務の理論について考える。	時間数	1
9週目			
授業学修内容	債権法各論②契約の成立―契約成立に関する理論、契約成立が擬制される場合		
授業外学修内容	契約に関する基礎的な理論について考える。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	債権法各論②さまざまな契約―売買契約、賃貸借契約、そのほかの契約について		
授業外学修内容	さまざまな契約の性質と内容について考える。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	債権法各論③不法行為制度―不法行為による損害賠償請求権発生 of 理論について		
授業外学修内容	不法行為とはどのようなものか、その内容(要件と効果)について考える。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	親族法―親族関係、婚姻などについて		
授業外学修内容	特に、婚姻について考える。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	相続法―法定相続と遺言制度の関係について		
授業外学修内容	特に、遺言の具体的な方法について考える。	時間数	1
14週目			
授業学修内容	民事時効制度―取得時効と消滅時効の論点について		
授業外学修内容	民事時効制度に関する重要な論点について考える。	時間数	1
15週目			
授業学修内容	民法典大改正―民法典の大改正のポイントについて		
授業外学修内容	民法典改正の意義と重要なポイントを考える。	時間数	1
上記の授業外学修時間の合計		15	
その他に必要な自習時間		75	

Number	LAW-2-004-jk	Subject	Civil Law		
Name	谷口 聡(Taniguchi Satoshi)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2

Course outline	0	In this lecture we study the Civil Code of Japan. The civil law is deeply connected with our daily life. In the Civil Code of Japan, there exist the rules concerning about contract, damages, relatives and succession. In some case, the civil law is one of the subjects of the employment examination for public servants or some qualification test. At the same time to study civil law is important for our peaceful and safety daily life.
-------------------	---	--